



たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

県議会本会議質問35回目登壇

21世紀以降、最多記録更新

ちば自民党政調会長として県政をリードする清田敏幸県議(5期)は、6月県議会本会議で代表質問に登壇。21世紀以降、最多記録を更新する35回目の質問戦を展開。注目のLGBTを含む「多様性尊重」条例や(北総鉄道)都心直結線の推進、北千葉道路整備など、県政における多くの重要課題を取り上げた。また、7月7日に行われた県土整備常任委員会では、地元道路整備の懸案であった「県道鎌ヶ谷・本埜線 栄町酒直〜印西市萩原5・4キロメートル」バイパス整備、若草大橋延伸線(国道356号以南)道路計画について質疑を行い、前向きな答弁を引き出しました。

6月定例県議会代表質問

県道鎌ヶ谷・本埜線バイパス

今年度開通へ!!

2007年県議初当選から取り組んで参りました「県道鎌ヶ谷・本埜線バイパス(栄町酒直〜印西市萩原間5.4キロメートル)」が今年度いよいよ開通致します。

道路計画決定以降、千葉

県と印西市・栄町との間で、用地買収や建設工事等の調

整役を担って参りましたが、これまで御協力頂いた関係者の皆様に心から感謝致します。

鎌ヶ谷・本埜線開通により、栄町と千葉ニュータウン地区の道路アクセスは飛躍的に向上し、住民の利便性の向上は元より地域経済への大きな波及効果も期待されます。具体的には、栄町から日医大北総病院や北千葉道路へ、ニュータウンから県立房総のむら方面が近くなりやす。



代表質問を行う清田敏幸県議

5期目県議清田にとつて「鎌ヶ谷・本埜線」開通は

大きな結果です。しかしながら、次のテーマに進まなければなりません。

印西・栄地区は北千葉道路や国道356号など東西の道路整備は進められてきましたが、NT(木下・小林)やNT(安食)という南北の道路ネットワークが遅れていました。さらに、2006年に開通した若草大橋有料道路も千葉県側は国道356号でストップしているため、栄橋(我孫子市・利根町)における慢性的渋滞の解消にも至っていません。また、経済発展著しい千



葉NTと茨城県南とのアクセス向上を喫緊の課題と捉え、県議会本会議で何度も取り上げ、更に2014年と18年、印西市長・栄町長にも県庁に来て頂き「若草大橋延伸線(国道356以南)道路計画の要望も」行ってもらいました。

で、「本埜・鎌ヶ谷線」開通の目的が立った今が千載一遇のチャンスと考え、6月定例会、県土整備常任委員会において、県と印西市・栄町との道路協議会設置を決定。8月23日に第一回目が開催されました。今後、県・印西の間で「道路ルート」策定へ向け基礎調査など具体的な協議が行われますが、地元県議として全力で取り組んで参ります。

たきた敏幸・PROFILE

- ・1960年 印旛郡印西町大森生まれ 印西中、県立我孫子高校卒業
- ・1982年 同志社大学卒業
- ・1999年 印西市議2期
- ・2007年 千葉県議5期
- ・2008年 印西市消防団副団長
- ・2009年 総合企画水道常任委員長
- ・2010年 千葉県ラグビー協会会長
- ・2013年 総務防災常任委員長
- ・2016年 農林水産常任委員長
- ・2021年 千葉県監査委員
- ・2022年 自民党県連政調会長

若草大橋延伸線、道路協議会(県・印西・栄)設置へ



「都心直結線」の事業化を陳情する滝田県議(右ら)

都心直結線事業化 国土交通省へ要望

7月20日には自民党成田空港推進議員連盟とともに国土交通大臣・及び同副大臣、二階俊博・自民党前幹事長に対し「都心直結線」事業化に関する要望書を提出するなど、文字通り「政策で県政を動かす!」に全力を尽くしています。

「都心直結線」事業化は千葉県の大願!!

県議滝田は、ちば自民党政調会長として「都心直結線(北総線・東京駅乗入れ)」の事業化を、成田空港の2030年50万回化による更なる機能強化とともに、千



葉県最大の政策課題として取り組んでいます。このことについては、熊谷俊人知事はじめ県幹部に再三申入れ、国への重点要望項目となっています。

一方、国では運輸政策審議会において「都心直結線」は「日本の国際競争力強化に資する鉄道ネットワークプロジェクト」(2016)として位置付けられ、2013年からは国の調査費も計上されました。しかしながら、

滝田議員 2月議会の我が党の代表質問に対し、多様性が尊重され、だれもが活躍できる社会の実現を図るため、新たな条例を制定する方針が知事から示された。

県民一人ひとりが様々な違いを受け入れ、個性や能力をいかんなく発揮することで、社会の活力を高め、本県の更なる飛躍につなげていくことが大事だと考える。

現在、新たな条例の制定に向けて、国や他自治体の状況等について分析を進めており、県議会の皆様からもご意見をうかがいながら、条例の骨子案を策定し、パブリックコメントを経て、条例案を上程したいと考えて

多様性尊重の条例制定
理念を広く共有へ

そこで、多様な尊重の推進に係る条例の制定に向けた検討状況はどうか。

知事 人々が互いを認め合い、連携、協力していくことは、相互作用や相乗効果を生み出し、社会経済の活力、創造性を高めていくと考えられることから、多様な尊重に関する条例を制定し、その理念を広く共有することが重要と認識しております。

私は県議会本会議において繰り返し「成田空港の都心へのアクセス向上」「都心直結線」は国策であり、千葉県にとつての大願と発言してきました。もっと言えば、国際空港として世界トップ

クラスとなる年間発着数50万回化が実現する2030年が事業化へ向けた最後のチャンスと訴えてきました。

更には「都心直結線の事業化は、北総鉄道の更なる運賃値下げに繋がる」と、私

小池百合子・東京都知事就任以降、JRによる羽田新線構想が浮上したため現時点では「都心直結線」事業化の先行き不透明な状態と

なっています。都心直結線は、京成押上から新東京駅までを短絡線(バイパス)で結ぶ事業のため、工事区間は東京都とな

ります。当然、建設に当たっては、国土交通省と千葉県として東京都による協議会設置と合意形成が前提となります。

県民がONETEAMに

要望 滝田議員 人口減少など本県を取り巻く環境が厳しさを増す中、千葉県の活力を21世紀に維持していく上で、県民一人ひとりが多様性尊重の意義を理解して、ONETEAMとなって、「ONE for ALL, ALL for ONE」という精神を持って、千葉県らしく、力を合わせていくことは、本当に大事だと思う。

現在検討を進めている条例が、千葉県らしく、多くの人に納得して受け入れてもらえる内容となるよう、議会としてもしっかりと議論を重ねながら、検討を進めていただくことを要望する。

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所
〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173